



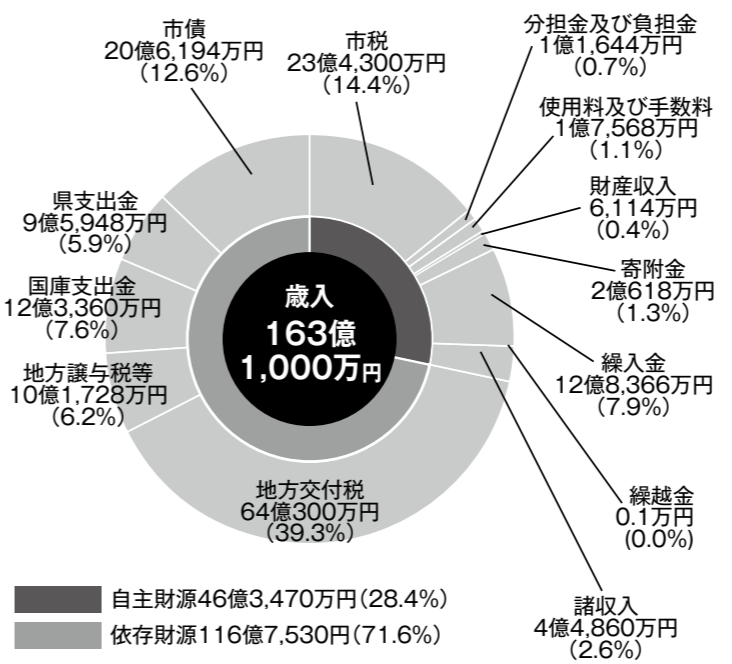
令和6年度 予算

次なる10年を見据えた予算

令和6年度予算書
は市民センターや
図書館で見ることが
できます。

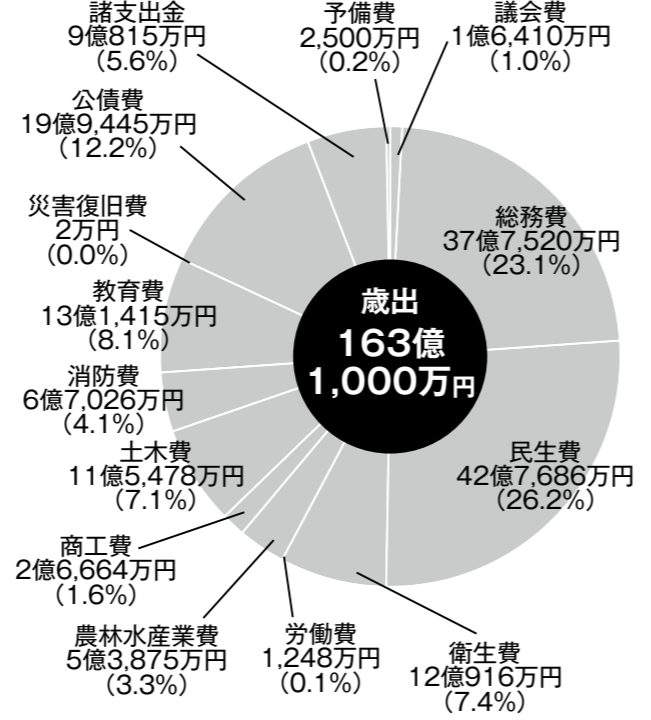
財政課
☎0823-43-1629

一般会計歳入

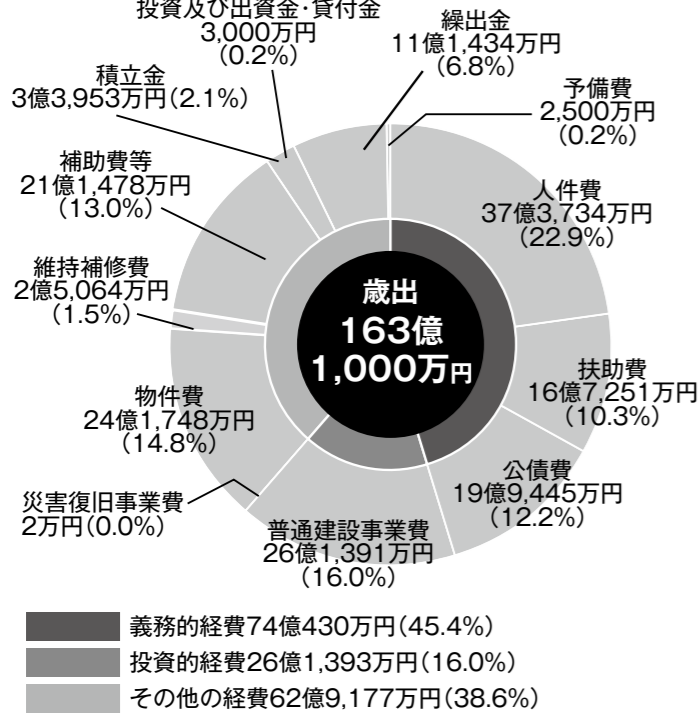


自主財源46億3,470万円(28.4%)
依存財源116億7,530円(71.6%)

一般会計歳出 (目的別)



一般会計歳出 (性質別)



令和6年度の予算が、市議会2月定例会で可決されました。一般会計の総額は、前年度比8・2%増の163億1000万円、特別会計・企業会計を含めた総額は、前年度比3・8%増の256億3480万円となりました。

予算の特徴

令和6年度の予算は、本市において最も重視すべき課題である人口減少の抑制に引き続き取り組むため、「じごこの創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」「人のつながり・縁づくり」を重点項目に、インフラ施設の維持管理などの暮らしの基盤整備や、協働のまちづくりの拠点となる施設整備など、「第2次江田島市総合計画」に掲げる「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」を実現するための施策を盛り込んでいます。

一般会計の概要

一般会計は、歳入で地方特例交付金や寄附金、市債などが増加しています。市税などの自主財源が28・4%、地方交付税などの依存財源が71・6%で、自主財源が少なく、依存財源に大きく依存する財政構造といえます。

歳出の目的別では、民生費が全体の26・2%、総務費が23・1%、公債費が12・2%となっています。

特別会計・企業会計の概要

特別会計は、住宅新築資金等貸付事業特別会計の廃止に伴い、8会計となりました。総額は75億6310万円、前年度比2・6%減となっています。後期高齢者医療特別会計が増加しています。それ以外の会計は同額または減少しています。

企業会計は、水道事業が広島県水道広域連合企業団への参画に伴い、下水道事業の1会計のみです。収益的支出と資本的支出の総額は、17億6170万円、前年度比5・3%減となっています。

基金の見込

令和5年度末及び令和6年度末の基金現在高見込は、表のとおりです。令和6年度では、財政調整基金から財源調整のため、9億8000万円の繰入を見込んでいます。

市債の見込

令和5年度末及び令和6年度末の市債現在高見込は、表のとおりです。一般会計では、借入額が元金償還額を上回るため、残高が増加する見込みです。

【令和6年度の取組】重点項目

▼「じごこの創出」

本市の人口減少、とりわけ若い世代の人口減少の抑制を図るには、市内に魅力的な「じごこの場」があることが必要です。本市内に元気なしじごこの場を確保するとともに、求人と求職のマッチングを図ることで、就業世代の確保と市内経済の活力づくりに取り組んでいきます。

▼人のつながり・縁づくり

本市との縁があり、応援し、関わりを持ってくださる方の存在は、地域の活力ある未来を描くために大変重要です。本市と様々な方の縁を新たに生み出し、また、縁をより強固なものにすべく、取組を進めていきます。

▼健康寿命の延伸

いくつになっても、安全・安心で、元気に暮らすことができ、地域であるために、健康で輝きながら生活を送ることができ、江田島市を目指し、引き続き、健康寿命の延伸に取り組んでいきます。

▼暮らしの基盤整備

また、各施策を横断的に貫き、支える共通の視点として、「暮らしの基盤整備」DXの推進に取り組みます。

地域の暮らしは、道路や上下水道、ごみ処理、公共交通などの社会インフラや、医療福祉、危機管理などの暮らしのセーフティネットといった社会的な基盤の上に形成されています。これらは、地域の暮らしを支える根幹であり、欠かすことができない機能です。

市民の暮らしを支える機能の確保と、適切な運営について、引き続き、しっかりと取り組んでいきます。

▼DXの推進

我が国は人口減少社会の到来を迎え、様々な分野で担い手不足が顕在化しつつあります。従来のマンパワーによる対応のみならず、デジタル技術による対応という選択肢を備えるべく、技術の導入に取り組むことで、将来の地域社会の円滑な運営を確保していきます。